

歴史的に中国と日本を結ぶ

「三弦・三線・三味線」という3つの伝統楽器。

日中の名手たちによる演奏で、

「楽器の旅」の足跡を辿る。

日中国交正常化40周年記念 横浜能楽堂特別企画公演

日中を旅した楽器

— 三弦・三線・三味線 —

《传承于中日的乐器——三弦、三线、三味线——》
纪念日中国交正常化40周年 横浜能楽堂特別公演

2012

7/14 (土)

午後2時開演 (午後1時開場)

終演予定 午後5時10分頃

会場：横浜能楽堂

料金：S席 6,000円

A席 5,000円

B席 4,000円

発売：5月12日(土) 正午より発売
(初日は電話・WEBのみ)

お申込み・お問合せ：

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

横浜能楽堂

Tel: 045-263-3055

<http://www.ynt.yaf.or.jp>

※電話・WEB予約開始日に
チケットが売り切れた場合、
窓口での販売はございません。

中国の南方、福建省辺りで演奏されていた楽器「三弦」は、人や文物の交流が盛んだった琉球へ渡った。三弦は改良され、琉球音楽には欠くことのできない「三線」となった。さらに三弦や三線は、交易の中心だった堺に渡り、やがて「三味線」へと改良された。三味線は、棹の太さにより「細棹・中棹・太棹」とバリエーションを持つに至り、地歌・長唄・義太夫・津軽三味線など多様な音楽を生み出し、日本の音楽に欠かすことの出来ない楽器として発展していった。

公演では、「人間国宝」をはじめとする日中両国の名手たちの演奏を聴きながら、「楽器の旅」の足跡を辿る。

プログラム

大三弦

「合歓令」 「風雨鉄馬」 「和藩」 「十八板」
三弦／趙承偉、琵琶／高微

福建南音

「霏霏颯颯」 「四静板」 「梅花操」
泉州南音楽団
三弦・琵琶／曾家陽、三弦／箫培玲、洞箫／王大浩、二弦／吳一婷

琉球古典音楽

「伊野波節」 「二揚 仲風節」
歌三線／照喜名朝一

八重山民謡

「安里屋ユンタ」 「与那国シヨシカネ」 「とうばらーま」 「六調節」
歌三線／宮良康正、山本藍

地歌

「黒髪」
歌・三弦／富山清琴、胡弓／高橋翠秋

「曲鼠」
歌・三弦(替手)／富山清琴、三弦(本手)／富山清仁

義太夫

「野崎村の段」
太夫／竹本津駒大夫、三味線／鶴澤寛治、鶴澤寛太郎

長唄

「鷺娘」
唄／今藤政貴、今藤長一郎、今藤政之祐

三味線／今藤政太郎、今藤美治郎、杵屋栄八郎
笛／藤舎名生 小鼓／藤舎呂船、望月太津之
大鼓／堅田新十郎 太鼓／藤舎清之

津軽三味線

「津軽じょんがら節(旧節)」 「弥三郎節」 「津軽おはら節(旧節)」
三味線／福士豊勝



出演者プロフィール

趙承偉
ジョウチンウイ

1961年、北京生まれ。中国音楽学院教授。演奏家として国内外で多数の音楽祭に参加する一方、三弦の研究と国際的な学術交流にも力を注ぐ。著書に『三弦基礎教程講座』『三弦楽曲選』などがある。中国音楽家協会会員、中国国家職業技能鑑定専門家委員会三弦専門委員。

泉州南音楽団

中国南方の伝統音楽である南音を伝承する楽団。拠点である泉州市では、唯一のプロ演奏家による南音楽団として活動。副団長の曾家陽は、三弦・南音琵琶演奏家。南音界において高い評価を受け、特に弦楽器に精通。08年福建省無形文化財・南音保持者に認定。国家二級演奏家。

照喜名朝一

1932年、沖縄県旧知念村(南城市)生まれ。57年安富祖流の宮里春行に師事。深みのある歌声と確かな演奏技術で沖縄を代表する古典音楽の演奏家。79年芸術祭最優秀賞受賞。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。琉球古典安富祖流音楽研究朝一会総帥。

宮良康正

1940年、与那国島生まれ。67年八重山古典民謡の重鎮・大演安伴の門をくぐる。69年にNHKのど自慢全国大会民謡の部で優勝して以来、八重山古典民謡並びに故郷の伝統歌謡(どうなん歌)の研究と普及に力を注ぐ。01年沖縄県文化功労者として表彰される。

富山清琴

1950年、初代富山清琴の長男として東京で生まれる。すぐれた音楽性によって地歌本来の上方の芸風を伝える貴重な演奏家。海外での公演にも多数出演。04年日本芸術院賞、06年松尾芸能賞優秀賞受賞。11年紫綬褒章受章。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。

鶴澤寛治

1928年、京都府生まれ。幼少より父・六世鶴澤寛治から三味線の手ほどきを受ける。芸の幅が広く、ふっくらとした艶のある美しい音色に定評がある。94年文楽三味線の最高格「三味線格」に。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。01年七代鶴澤寛治を襲名。

今藤政太郎

1935年、東京都生まれ。十世芳村伊四郎、三世今藤長十郎、今藤綾子、山田抄太郎各師に師事。古典と現代作品の双方において重要な演奏家の一人として、国内外で活躍。舞踊や映画音楽の作曲も手がける。10年日本芸術院賞、同年松尾芸能賞優秀賞受賞。

福士豊勝

1948年、津軽民謡界の大御所的な存在だった福士豊三と民謡歌手の山内たつ子の長男として、青森県に生まれる。大阪や東京での演奏経験を経て、71年青森へ帰郷し、本格的に津軽三味線奏者として活動。現在は民謡教室を開き後任の指導にも尽力。



日中国交正常化40周年記念 横浜能楽堂特別展

楽器は語る

—三線・三味線の名器を中心に

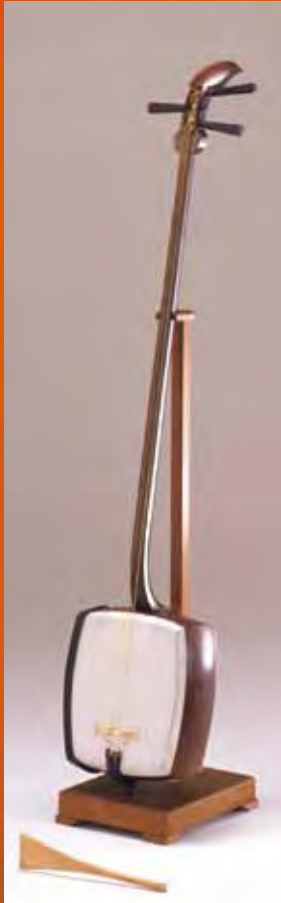
平成24年 6月10日(日)～7月16日(月・祝)

午前9時～午後8時

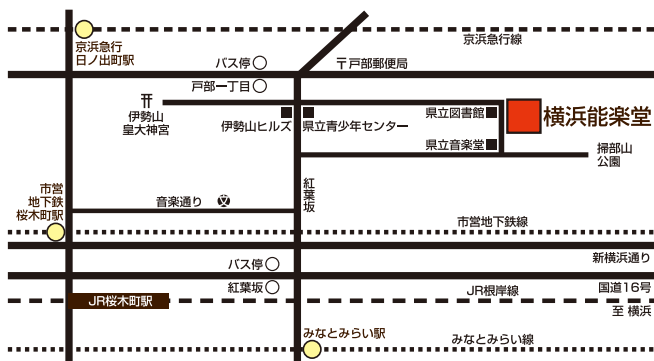
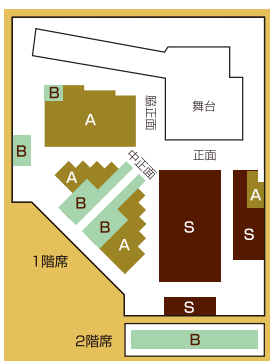
琉球王朝時代の三線の名器として知られる「開鐘」の一つ「富盛開鐘」や津軽三味線の鬼才・初代高橋竹山愛用の三味線など、数々の物語を秘めた三線・三味線を一堂に集めて展示します。それぞれの楽器の持つ特色や物語とともに、中国の三弦から三線、三味線へと楽器が辿った変遷をお楽しみください。

●会場／横浜能楽堂 二階展示廊 ●入場料／無料

※6月11日(月)、7月2日(月)、7月9日(月)は休館。7月13日(金)は公演準備のためご入場できません。
※有料の催しがあるときは、チケットをお持ちでない方はご入場できません。
※開館時間に変更になる場合がございます。詳しくはお問合せ下さい。



「遊女玉菊使用三味線」早稲田大学博物館蔵



交通のご案内

◆電車利用

- ・JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分
- ・みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分
- ・京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分(タクシー利用は各駅共約5分)

◆バス利用

- ・戸部1丁目(市営バス103系統)下車徒歩5分
- ・紅葉坂(市営バス8、26、58、89、101、105、106系統)
- ・神奈中バス横43、横44、港61系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行
- ・京急バス110系統)下車徒歩10分

- ※ 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。
- ※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。
- ※ 会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
Tel: 045-263-3055
<http://www.ynt.yaf.or.jp>

横浜能楽堂

制作・主催：横浜能楽堂(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
プロデューサー：中村雅之
協賛：ANA、コカ・コーラ センtral ジャパン株式会社
助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団
後援：中国大使館文化部、国際交流基金

